

分別はこれであってる？

ゴミ袋の色は「黄色と緑」、「赤と青」？

粗大ごみはいつ、どうやって捨てるの？

と思ったことがあるあなた！
東広島市のごみについて、
一緒に考えてみませんか？

URL: <http://www.hgh-simin-gominokai.com/>

東広島市のごみを考える市民の会

で検索！！

私たちは環境先進都市を目指す東広島市
にふさわしいごみ処理について、市民が
考え行動するために会を設立しました。

会 則
幹事会
議事録
要望書

東広島市は広島県内23市町の内では一人当たりのごみ排出量が5番目に多く、
廃棄物の資源化率は県内最低、市民一人当たりごみ処理費用が年間16,833円と全
国平均より2,433円も高くなっています。

私たちの調査では市民や事業者ばかりでなく市の廃棄物行政や市議会・広島中央
環境衛生組合議会にも多くの問題があります。計画されている新ごみ処理施設につ
いてはその建設計画自体について多くの市民は知りません。

真の環境先進都市になるためにはごみ処理問題の解決が不可欠です。

そこで、私たちは環境先進都市にふさわしいごみ処理について市民全体で考える
機会を提供するため「東広島市のごみを考える市民の会」を結成しました。

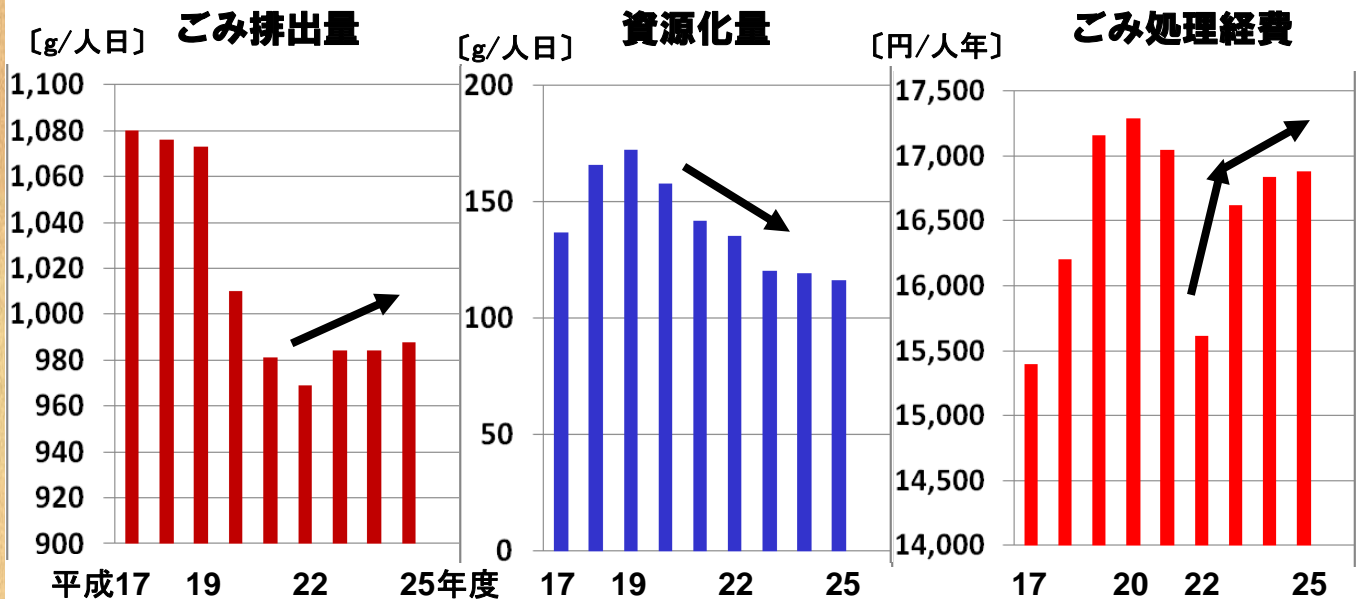
沿 革

H27.7.8 「東広島市のごみを考える市民の会」設立

8.11 代表幹事他5名が蔵田東広島市長（広島中央衛生組合管理者）を訪問。要望書を提出する。

9.17 広島中央衛生組合清水迫副管理者と面談。

東広島市のごみ排出量、処理経費は増加し、資源化量は減少しています



(東広島市廃棄物対策課提供資料から作成)

平成27年8月11日に
市長に要望書を提出しました

東広島市の廃棄物処理の課題：市民視点からの分析と提案 東広島市は“ごみ処理先進都市”を目指しましょう！

<要旨>

東広島市が抱えているごみ問題の状況、原因、解決策を市民の視点から検討しました。

1) ごみ排出量が多い。

東広島市の平成25年度のごみ排出量987g/人日は広島県内23市町の中で5番目に多く、広島県平均や全国平均を上回ります。平成19年度のごみ減量化・リサイクル推進計画策定以降減少してきたごみ排出量がこの数年増加に転じ、市の平成27年度目標値の1,000g/人日以下を維持できるか危うい状況です。東広島市のごみ排出量が多い主な原因は事業系ごみの排出量が県内で2番目に多いためと考えられ、特に事業系のごみ排出量の大幅な削減が必要です。

2) ごみ資源化率が県内最低である。

東広島市のごみ資源化率(R%)は広島県平均や全国平均のほぼ半分に過ぎず、広島県内で最低です。ごみ資源化量は平成19年度に最高値172g/人日を記録した後減少を続け、平成25年度には116g/人日にまで低下し、市の平成27年度目標値273g/人日の達成率は43%に過ぎません。ごみ資源化率が低い主な理由は事業系ごみの分別・資源化が不十分なことと焼却灰・飛灰・中間処理後残渣が全く資源化されていないためと考えられ、抜本的な対策が必要です。

3) ごみ処理費用が高い。

東広島市のごみ処理経費総額は、平成19年度に市が設定した平成27年度目標値27.6億円を毎年大きく超過しています。また、平成25年度のごみ処理経費16,458円/人年は全国平均を大幅に上回っています。ごみ処理経費の削減は行政努力に依存していますので、行政努力が著しく不足していたものと考えられます。行政がごみ処理経費の使途について徹底的に見直す必要があります。

4) ごみ有料化の実施は市民の理解を得られない。

ごみ有料化の条件である「ごみ減量化」については市民・事業者の努力で平成27年度目標値を達成していますが、「ごみ処理経費の削減」は行政の努力不足によって達成されていません。それを有料化＝市民の負担増で補うことは市民が納得しません。ごみ有料化は実施すべきではありません。

5) 新ごみ処理施設の建設計画を多くの市民が知らない。

新ごみ処理施設の建設計画を全く知らない市民もいます。最近のごみ処理施設は多面的な機能を備えた地域全体の社会施設なので、市民に対して一日も早く計画全体を説明する必要があります。

6) ごみ処理に関心・無理解な市民が多い。

ごみ排出者のニーズを満たすような広報が十分になされておらず、市のホームページや広報誌の読者も少ないです。新ごみ処理施設の建設を効果的な広報の絶好の機会として活用すべきです。

7) 廃棄物行政が停滞している。

ごみ処理に関する市の指標は最近とみに悪化しており、行政も議会も有効な対策を講じていません。市民を加えたごみ処理審議組織を広島中央環境衛生組合内に設置し、衆知を結集すべきです。

結論：東広島市がごみ処理先進都市を実現するには現状よりごみ排出量を3割以上削減し、資源化率を4倍以上に向上できる総合的・抜本的な対策が必要です。これらは十分に実現可能です。

問い合わせ先：副代表幹事兼事務局長 小池
Tel: 090-1182-9216
E-mail: gominokai@outlook.jp